

フィッチによる日本の格下げについて

2012年5月23日

<格下げについて>

5月22日、格付会社フィッチ・レーティングス(以下フィッチ)は、日本の自国通貨建て長期発行体デフォルト格付けを「AA-」から「A+」に、外貨建て長期発行体デフォルト格付けを「AA」から「A+」に引き下げました。見通しはいずれも「ネガティブ」としています。

フィッチは見通しを変更した理由について、「日本の公的債務比率が高水準かつ上昇しているために、ソブリン信用力に関するリスクが高まっていることを反映している。日本の財政健全化計画は、困難な財政状況にある他の高所得国と比較しても切迫感に欠けると思われるうえに、計画の遂行には政治リスクが伴う」としています。

格下げ発表直後の市場の反応については、為替市場では円が対ドルでやや円安に振れる一方、国債市場ではほとんど反応は見られませんでした。

各格付会社の日本長期債務格付け

(2012年5月23日現在)

	外貨建て	自国通貨建て	見通し
フィッチ	A+	A+	ネガティブ
R&I	AA+	AA+	安定的
JCR	AAA	AAA	安定的
ムーディーズ	Aa3	Aa3	安定的
S&P	AA-	AA-	ネガティブ

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

<今後の見通し>

政府・与党が進める社会保障と税の一体改革は、消費税増税を含む関連法案がようやく国会で審議入りしたものの、政局の先行きは不透明であり、成立の見通しは立っていません。また、東日本大震災や欧州債務問題などによる景気の下振れで税収の伸びが抑制されることが想定されるほか、被災地復興のための財政出動も加わり、今後の財政運営は厳しいものになると考えられます。

しかしながら、日本は世界最大の対外純資産残高を誇り、日本国債はその91.5%が国内投資家によって保有されています(2011年12月末時点、財融債、国庫短期証券を含む、出所:日銀資金循環統計)。経常収支については、円高や輸出の低迷により一時的に貿易収支が赤字化する局面はあるものの、対外純資産からの所得収支の黒字が大きく貢献しており、当面は経常収支は黒字の状況が続くと想定しています。そのため、日本は海外投資家に依存することなく国債発行を消化できる状況であることから、財政不安が高まる可能性は低く、フィッチによる今回の変更が日本国債の相場に及ぼす影響は限定的とみています。

もともと、財政再建は中長期的に重要な課題であることに変わりはなく、政府による今後の積極的な取り組みが期待されます。

以上

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会